する都城志布志道路整備！

都城志布志道路「金御岳IC-末吉IC」開通祝賀式を３月28日、梅北小学校体育館で開催。宮崎県・鹿児島県の県境エリアの同区間が開通したことで、横市ICから志布志ICまで一気につながりました。

◎問い合わせ　都市計画課　☎23-2090

都城志布志道路の役割

都城志布志道路は、本市を起点に鹿児島県曽於市を経由し志布志市に至る、総延長約44キロの自動車専用道路です。

本道路は、九州縦貫自動車宮崎線や、東九州自動車道と接続することで広域交流ネットワークを形成。本市を中心とする南九州圏域の発展を担っています。

「防災の道」「経済の道」「医療の道」としての機能強化に「特に効果がある」と期待されていて、圏域の「命」と「暮らし」を守る重要な役割を持っています。

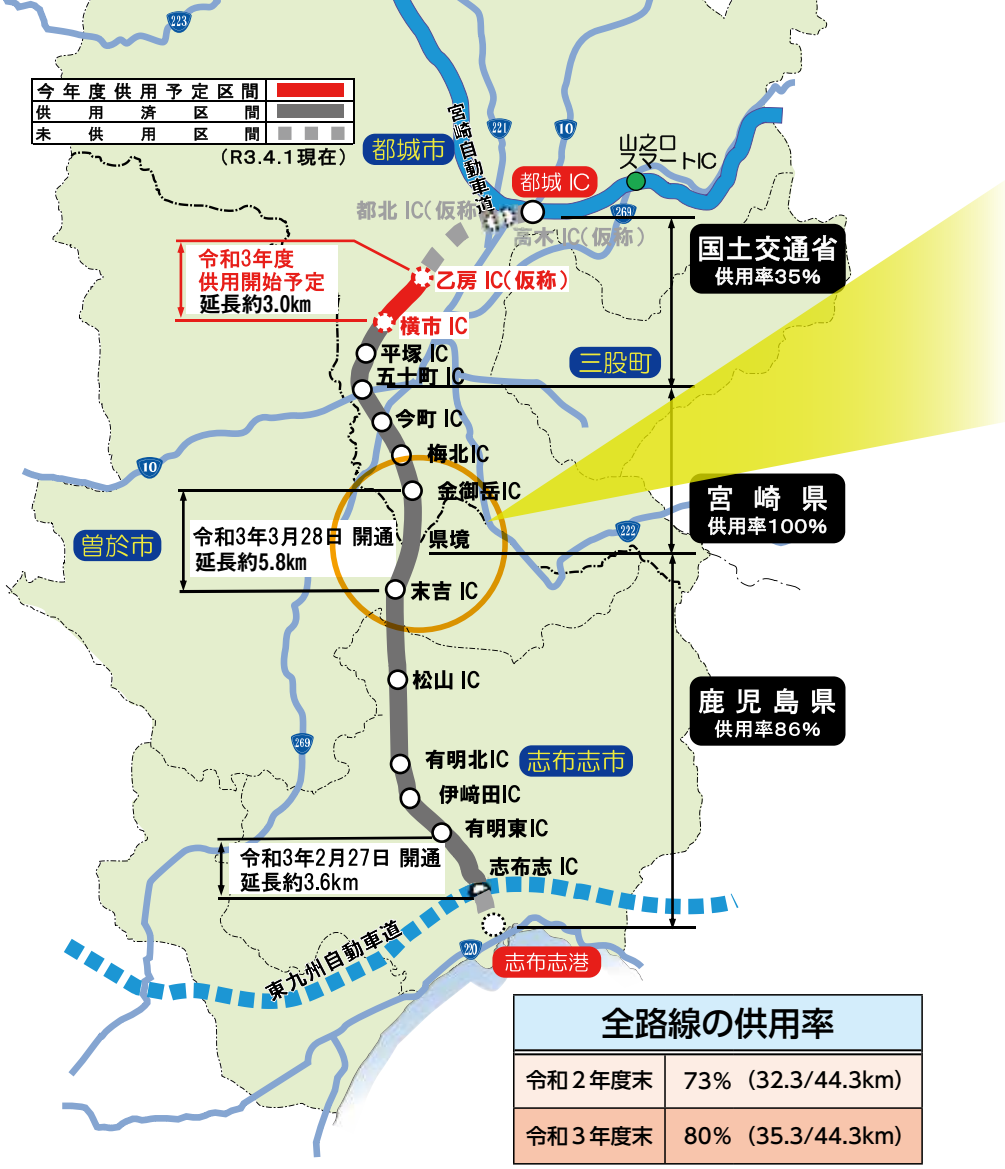
待ち望んだ県境区間の開通

平成25年度から宮崎県と鹿児島県で整備を進めてきた延長５・８キロの同区間。３月28日の供用開始に当たり、国や県、市など、多くの関係者が参加した都城志布志道路「金御岳ＩＣ－末吉ＩＣ」開通祝賀式で、池田市長は「多くの人の尽力でここまで来られた。早期全線開通を目指し、最大限の努力をしていきたい」と力強くあいさつしました。

祝賀式後は、末吉ＩＣ内でテープカットや通り初めパレードなどが行われ、宮崎県と鹿児島県の県境エリアの開通を盛大に祝いました。

開通祝賀式の様子

加速



金御岳 IC 上空

全路線の供用率	
令和２年度末	73%（32.3/44.3km）
令和３年度末	80%（35.3/44.3km）

令和3年度までに8割開通予定

市では、早期全線開通に向けて、都城志布志道路整備・活用促進大会の開催や、国や県への要望活動など、曽於市・志布志市や都城志布志道路早期完成促進民間協議会などとともに、「官民一体となった取り組み」を積極的に進めています。

これらの取り組みの結果、令和3年度当初の国直轄予算は、昨年度を上回る過去最高の58億5、600万円となりました。

今年度、乙房ＩＣ（仮称）－横市ＩＣ間が開通予定で、令和3年度末までに全体の8割が開通する予定です。

くす玉開披

末吉IC内通り初めパレード

末吉IC内テープカット